

事務事業名	市街地道路新設改良事業	所属部門	環境土木課 道路整備係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 市街地における円滑な交通環境と高齢者や身体に障がい有する方等に配慮した歩道整備など、誰もが安心して快適に利用できる道路交通環境の整備を図る。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) 市街地道路の整備延長</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 道路網の整備や公共施設周辺のバリアフリー化を進めることにより、快適な住環境と誰もが安心して円滑に通行できる車道や歩道空間を確保する。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 道路交通網の充実と安全性の向上が図られ、快適な交通環境による事故防止と地域の生活環境の向上に役立つ。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 整備路線数	路線
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 整備延長	m
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 整備率	%
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 冬期間の移動は安全安心と感じる住民満足度	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円		58,000,000	83,500,000	119,999,000	129,700,000	172,800,000
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	62,065,648	10,902,433	38,377,630	64,328	14,889,000	25,350,000
	事業費計(A)	円	62,065,648	68,902,433	121,877,630	120,063,328	144,589,000	198,150,000
	正職員従事人数	人	4	3	3	3	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.6720	0.8688	0.8282	0.7846		
人件費計(B)	円	5,227,868	6,774,861	6,640,879	6,227,700			
トータルコスト(A+B)	円	67,293,516	75,677,294	128,518,509	126,291,028			
活動指標	①	路線	3	3	4	6	6	5
	②							
	③							
対象指標	①	m	510	618	614	706	778	960
	②							
	③							
成果指標	①	%	97	97	97	97	97	97
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	47.9	52.2	52.7	61.0	65.9	70.7
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 高度経済成長期に建設された道路の老朽化が町内で著しく進んでいることから、改良・修繕共に費用面において課題がある。</p>	<p>2. 今後の取組 (2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法) 道路整備については、破損状況など道路維持係と連携し、整備路線を選定する。整備の際には芽室町道路整備規準(令和元年度策定)を基に、各整備路線の実態に応じた改良・修繕を進める。また財政面においては、経済性を考慮した工法について検討する。</p>
---	---

2021年度（2020年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 4-2-3

事務事業名	北海道用地対策連絡協議会参画事業	所属部門	環境土木課 道路整備係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

用地対策連絡協議会は、公共事業の施行に必要となる用地取得に関し、起業者相互の連絡を行い損失補償基準運用の調整及び損失補償に関する調査・研究・研修等を共同して行うため、起業者によって組織された団体である。公共事業を推進するにあたり、用地の取得、支障物件の補償等の適正化と円滑化に寄与するための情報を取得し、適切な積算を実施するため参画する事業である。

〔2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法〕

協議会では毎年補償基準や補償に係る単価を更新しており、適正で公正な補償評価を実施するためには本会に入会する必要がある、今後も継続する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円					
		一般財源	円	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円	0	0	0	0	0
投入量	人件費	正職員従事人数	人	4	3	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.0098	0.0175	0.0175	0.0064	
		人件費計(B)	円	76,240	136,464	140,323	50,799	
		トータルコスト(A+B)	円	76,240	136,464	140,323	50,799	

2021年度（2020年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 4-2-3

事務事業名	駐車場法に基づく路外駐車場設置等に関する事務	所属部門	環境土木課 道路整備係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

**〔事業の概要・現状・課題〕**

駐車場法の規定に基づき、都市計画区域内に路外駐車場を設置する場合、設置者はあらかじめ、その位置、規模、構造、設備その他必要な事項を芽室町長に届出なければならない。町は路外駐車場に対して、立入検査や是正に必要な措置及び供用停止を命ずることができる。（平成18年度に北海道から権限移譲）

また、路外駐車場のうち、特定路外駐車場の条件に該当する駐車場は、バリアフリー法の規定に基づき、路外駐車場移動等円滑化基準に適合させることを義務付けしており、その設置について届出しなければならない。町は特定路外駐車場に対して、立入検査や是正を命ずることができる。（平成20年度に北海道から権限移譲）

**〔2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法〕**

今後も継続実施をする。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円					
		一般財源	円	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円	0	0	0	0	0
投入量	人件費	正職員従事人数	人	2	3	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.0119	0.0023	0.0014	0.0000	
		人件費計(B)	円	92,577	17,935	11,065	0	
		トータルコスト(A+B)	円	92,577	17,935	11,065	0	

事務事業名	橋りょう長寿命化事業	所属 部門	環境土木課 道路整備係
町長公約	橋りょうの長寿命化の推進	公約達成 年次	継続実施

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 今後橋りょうが急速に老朽化していくことを踏まえ、法令で定める5年に1回の近接目視点検とその結果に基づいた修繕を実施することで橋りょうの長寿命化を図り、誰もが安心して快適に利用できる道路交通環境の整備を図る。
2. 対象(何を対象にしているか) 町道認定路線に設置された橋りょう
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 橋りょうの点検・修繕を進めることにより、地域住民及び一般車両や大型農業車両による農産物搬出入の円滑化と安全を確保する。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 橋りょうの長寿命化を図ることで、道路交通網の充実と安全性の向上が図られ快適な交通環境による事故防止と地域の生活環境の向上に繋がる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 橋りょう点検数	橋
② 橋りょう修繕数	橋
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 点検が必要な橋りょう数(5年間のサイクル)	橋
② 修繕が必要な橋りょう数	橋
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 点検済率(5年間のサイクル)	%
② 修繕済率	%
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円	41,272,000	38,067,000	53,121,000	38,400,000	48,000,000	62,010,000
	地方債	円		19,700,000	23,800,000	22,900,000	33,800,000	33,600,000
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	27,594,922	7,080,832	19,341,030	8,163,703	4,615,000	13,040,000
	事業費計(A)	円	68,866,922	64,847,832	96,262,030	69,463,703	86,415,000	108,650,000
人件費	正職員従事人数	人	4	3	3	3	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.3369	0.3540	0.4614	0.4737		
	人件費計(B)	円	2,620,935	2,760,475	3,699,712	3,759,956		
トータルコスト(A+B)		円	71,487,857	67,608,307	99,961,742	73,223,659		
活動指標	① 橋		158	78	44	61	67	42
	② 橋		0	1	1	4	5	5
	③							
対象指標	① 橋		236	78	266	222	161	94
	② 橋		81	80	55	43	40	36
	③							
成果指標	① %		71	100	17	39	65	80
	② %		7	8	8	19	25	32
	③							
上位成果指標	① %		47.9	52.2	52.7	61.0	65.9	70.7
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 町道に設置されている橋りょうは全部で266橋あり、現状では建設後50年以上経過している橋りょう数は3%程度だが、20年後には77%まで増加する。これらの急速に増加する老朽化橋りょうを計画的・効率的に保全するため策定した、「橋りょう長寿化計画」に基づき修繕及び定期的な点検を実施している。また修繕及び点検を実施するにあたり、多額の財源が必要になることから、道路メンテナンス補助事業を活用している状況である。	2. 今後の取組 (2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法) 2019(令和元)年度より修繕工事を実施している芽室大橋は、2023(令和5)年度完了予定である。また、定期点検は2019(令和元)年度より2巡目の点検を実施しており、2023(令和5)年度に終了予定である。財源に関しては、今後も道路メンテナンス補助事業を活用する。
---	--

2021年度（2020年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 5-2-1

事務事業名	公共施設(付帯施設等)修繕等設計・積算事務	所属部門	環境土木課 道路整備係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

**[事業の概要・現状・課題]**  
 各課で所管する土木構造物の老朽化や破損が生じた際に、担当課では修繕方法やそれに要する費用を把握することが困難な場合において、各課の施設管理担当係と協議を行い、設計・積算業務を実施している。

**[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]**  
 農林課農林環境係で管理している林道橋について、令和3年度に実施設計、令和4・5年度に補修工事を実施予定であることから、道路整備係にて設計・監督業務を行う。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
人件費	正職員従事人数	人	4	3	3	3	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.0138	0.1608	0.1608	0.0749		
	人件費計(B)	円	107,358	1,253,911	1,289,367	594,513		
	トータルコスト(A+B)	円	107,358	1,253,911	1,289,367	594,513		

事務事業名	郊外地道路新設改良事業	所属部門	環境土木課 道路整備係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 郊外地における住環境の改善と町の基幹産業である農畜産業の作業効率の向上を目指し、順次整備を進める。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) 郊外地の道路</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 道路整備により、地域住民及び一般車両や大型農業車両による農産物搬出入の円滑化と安全を確保する。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 交通体系の充実と安全性の向上、緊急時における的確な交通対応や事故防止等の地域振興に繋がる</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 整備路線数	路線
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 整備延長	m
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 整備率	%
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費							
	国・道支出金	円		18,409,000				
	地方債	円		65,800,000	97,900,000	15,340,000	160,300,000	211,100,000
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	56,290,638	16,265,409	72,695,531	136,754,432	7,530,000	26,360,000
	事業費計(A)	円	56,290,638	100,474,409	170,595,531	152,094,432	167,830,000	237,460,000
人件費	正職員従事人数	人	4	3	3	3	3	3
	人工数(業務量)	人工	0.7627	0.7118	0.6235	0.7420		
	人件費計(B)	円	5,933,474	5,550,582	4,999,503	5,889,566		
	トータルコスト(A+B)	円	62,224,112	106,024,991	175,595,034	157,983,998		
活動指標	①	路線	3	4	7	6	7	9
	②							
	③							
対象指標	①	m	799	888	2,160	1,838	1,973	2,770
	②							
	③							
成果指標	①	%	75	75	75	75	75	75
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	47.9	52.2	52.7	61.0	65.9	70.7
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 高度経済成長期に建設された道路の老朽化が町内で著しく進んでいることから、改良・修繕共に費用面において課題がある。</p>	<p>2. 今後の取組 (2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法) 道路整備については、破損状況など道路維持係と連携し、整備路線を選定する。整備の際には、芽室町道路整備規準(令和元年度策定)を基に各整備路線の実態に応じた改良・修繕を進める。また、財政面においては、経済性を考慮した工法について検討する。</p>
---	--